

## 地域イノベーション戦略支援プログラム

「あおもりグリーン&ライフ・シナジーイノベーション創出エリア」

－プロテオグリカン関連バイオマテリアルをコアとした津軽圏ヘルス&ビューティー産業  
クラスタの形成・拡大－

Regional Innovation Strategy Support Program  
(Aomori Green & Life Synergy Innovation Area)

-Formation and expansion of the Tsugaru Zone Health & Beauty Industry Cluster  
based on proteoglycan-related biomaterials-

バイオテクノロジー部<sup>※1</sup>、生命科学部<sup>※1</sup>、環境技術部<sup>※2</sup>  
(<sup>※1</sup> 弘前地域研究所、<sup>※2</sup> 工業総合研究所)

青森県が提案し、文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラムに採択された事業「プロテオグリカン関連バイオマテリアルをコアとした津軽圏ヘルス&ビューティー産業クラスタの形成・拡大」(あおもりグリーン&ライフ・シナジーイノベーション創出エリア)は、平成25年から5年間、(公財)21あおもり産業総合支援センターを総合調整機関とし、青森県や弘前大学、そして多くの県内企業が参画して展開している事業であり、当センターは弘前大学と共に研究の中核を担っている。

本事業は、弘前大学におけるこれまでの都市エリア事業(文部科学省、連携基盤整備型・一般型)、及び平成22年から平成24年まで当センターが中核機関となって行われた地域イノベーション戦略支援プログラム(都市エリア型)で得られた研究成果を基盤として、プロテオグリカンから関連バイオマテリアルまで対象を拡張し、これまでの研究開発を加速させるとともに、地域の将来を担う人材の育成を図り、弘前エリアを中心とした「美容・健康」産業クラスタの形成・拡大に取り組んでいるものである。本事業に関連した新機能研究や素材開発のイメージを図に示す。



本事業に関連した新機能研究や素材開発のイメージ